蜘　蛛　方　言　錄（第二輯）

編纂　植　村　利　夫

和歌山縣下に於ける蜘蛛三種の方言

楠　本　重　夫　氏（報告）

1. ヂグモ（*Atypus karschi*）……方言ツチグモ（日高郡日井崎村，有田郡御靈村，那賀郡岩出町，東牟婁郡下太田村，西牟婁郡佐本村，有田郡八幡村）• ヂグモ（西牟婁郡上芳養村）• ミミゴ（東牟婁郡那智町）• デデンゴ（東牟婁郡那智町）• モグラ（那賀郡河原村）
2. ヂョラウグモ（*Nephila clavata*）……方言キンチョロ（西牟婁郡近野村）• ドクグモ（東牟婁郡那智町）• カンチョロ（東牟婁郡那智町）• タイコグモ（西牟婁郡上芳養村）• ヂョログモ（那賀郡貴志村）• トノサングモ（日高郡日井崎村）• イネグモ（東牟婁郡高池町）• タケヂョロ（東牟婁郡下里村）• タグモ（西牟婁郡江住村）
3. コガネグモ（*Argiope amoena*）……方言ヂョラウグモ（伊都郡高野口町，那賀郡志賀野村，同郡中野上村，同郡南野上村，同郡長谷毛原村．有田郡八幡村，同郡箕島町，日高郡請川村，同郡船着村，同郡上山路村，東牟婁郡色川村，同郡太原村，同郡下太田村，同郡太地町，西牟婁郡上芳養村，同郡田邊町　同郡岩田村　同郡三栖村，同郡江住村）• ヂョヂョグモ（伊都郡學文路村，有田郡八幡村，同郡鳥屋城村，日高郡東内原村）• イネヂョロ（東牟婁郡上太田村，同郡下太田村）• ヘイタイグモ（海草郡三田村，那賀郡南野上村，同郡安樂川村，同郡中野上村，同郡小倉村，有田郡栖川村，同郡箕島町，伊都郡紀見村，西牟婁郡潮岬村）• タイコグモ（海草郡西和佐村，那賀郡貴志村）• チンダイグモ（海草郡□崎村，那賀郡貴志村，同郡安樂川村，同郡中野上村，有田郡宮原村）• ケンクワグモ（西牟婁郡江住村）• ホングモ（東牟婁郡高池町，同郡下太原村）• ヂョンヂョロ（西牟婁郡岩田村，同郡三栖村）• トラグモ（日高郡湯川村）• ヂョロタ（日高郡切目村）• ヂヤラ（西牟婁郡周參見村）• オチョンボ（那賀郡東野上村）• ギングモ（東牟婁郡新宮）

福島縣川俣町附近に於ける蜘蛛の方言

高　橋　直　敏　氏（報告）

1. ヂグモ (*Atypus karschi*)……方言フクログモ（これは稍廣く用ひられて居る。住居の形狀より起る。），ハラキリグモ（これも前と同じ程度に用ひられて居る），ハラキリカンペイ（これは小學生位から用ひて居る當地方の最も特徴ある方言で，忠臣藏の勘平腹切より起りたるものである。非常に廣く用ひられて居る），カンペコ（勘平公の意。前者の略語で一部分に用ひられて居る。）

2. オニグモ (*Araneus ventricosus*)……方言ライサマグモ（雷樣蜘蛛の意。オニグモの鬼と雷とに關聯して居る樣である。農民一般の方言），ヤマグモ（當地一伊達郡川俣町一より南の方一帶に用ひられて居る。）

3. ナガコガネグモ (*Argiope bruennichi*)……方言ヂシングモ（これは網に近づくと自衞手段として網を盛にゆする習性より起りたるもので，非常に廣く用ひられて居る。）チヨラウグモ（これは本縣全體に廣く用ひられて居る方言にして相當知識階級の者までこれを用ひて居る。もつとも誤りやすい方言のやうである。），ヤマグモ（これは前記の如くある地方ではオニグモをヤマグモと呼んで居るが，一般にはこのナガコガネグモをさして居る。）

〔附記〕濱通へ行くと *Argiope amoena* をヤマグモ等と呼んで居るが，當地方一中通一には此の種は見られない。居るには居るだらうが小生はまだ見ない。濱通にては七月の中旬頃から盛んに出現しはじめる。又濱通の一部の人達はこの種をもチヨラウグモと呼んで居る。）

4. スヂボソハシリグモ (*Dolomedes angustivirgatus*) 及びイワウイロハシリグモ (*D. sulfureus*)……方言ミヅグモ（これは多く田の畦・沼池のほとり又は水邊に棲息し水上を巧に走る樣より起りたる方言で，廣く用ひられて居る。）

5. ハヘトリグモ (*Menemerus confusus*) 及びチヤスヂハヘトリ (*Plexippus paykulli*)……方言ハイトリグモ（これは一部の人々），ヒラグモ（形態が稍扁平である所から來た方言で廣く用ひられて居る。）

6. ウヅキドクグモ (*Lycosa T-insignita*) 及びハラクロドクグモ (*L. coelestis*)……方言ヂグモ（畑等に多く居るので，又地上を盛んに走り廻つて居るので此の名が出た。農民間に廣く用ひられて居る。）

普通用ひられて居る方言は大體以上の如きもので，又蜘蛛それ自身に關してゞはないが，朝早く蜘蛛の巣が木の梢の方のものまではつきり見える時（朝霧のため巣が露にぬれて遠くのものまではつきり見える）必ず天氣がよいと言つて，これをテンキグモが出たと言つて喜ぶ。

蜘蛛三種の方言

深澤治男氏（報告）

1. ヂグモ (*Atypus karschi*)…………方言　ヂ ー グ モ (長野縣上田市)
2. ヂヨラウグモ (*Nephila clavata*)…方言　オヂヨログモ (長野縣上田市)
3. コガネグモ (*Argiope amoena*) …方言　オテンジングモ (山梨縣南巨摩郡靜川村

大阪府下に於ける蜘蛛數種の方言

八木沼健夫氏 (報告)

1. ヂグモ (*Atypus karschi*)……方言ツチグモ，フクログモ，ケンカグモ
2. コガネグモ (*Argiope amoena*) 及びナガコガネグモ (*A. bruennichi*)……方言ケンカグモ，ヘイタイグモ，チンダイグモ．タイジヤウ，タイシヤウ．タイシヤウグモ
3. オニグモ (*Araneus ventricosus*)……方言カミナリグモ，カネグモ
4. アシダカグモ (*Heteropoda venatoria*)……方言アシダカ，アシナガ，タコグモ，ヤツデグモ，ヤイトグモ，オホグモ

序ながら四國に於てはコガネグモの事をヤマコブと云ひ，廣島にてはアシダカグモの事をササグモと云ひ，鹿兒島縣北部及熊本縣南部に於てはヂグモの事をカミナリグモと呼んでゐると。後者は雷がなるとヂグモが出て來て這ひ出すからだと云ふ。又千葉縣裏房州に於てはザトウムシの事を一般にアンマサンと呼んでゐる。

前號八木沼健夫氏論文訂正

正	誤
3頁　31行…山麓町である柏原	山麓町である。柏原
同　13行…(交野臺地)	(交野原)
4頁 Ⅱ 東部山地 { 1 生駒，金剛山脈 / 2 枚方臺地(交野臺地) } Ⅲ 南部山地 { 1 和泉山脈 / 2 埴生臺地(泉北丘陵) / 3 石山丘陵 }	Ⅱ 東部山地 { 1 生駒金剛山脈 / 2 枚方臺地(交野臺地) / 3 石山丘陵 } Ⅲ 南部山地 { 1 和泉山脈 / 2 埴生臺地(泉北丘陵) }
4頁　6行　細別	細割
6頁　12行　ベリンダ……	ベリシダ……
7頁　19行　コゲチヤ……	コヂチヤ……
11頁　23行　アダンソン……	アダンソシ……
14頁　8行　Theridiidae……9	Theridiidae……6